

## 平成 31 年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

生徒個々の「生きる力」「進路を切り開く力」の伸長を図る地域と密接に連携した教育活動により、地域社会に貢献できる能力と豊かな人間性を持つ人材を育成し、地域に信頼される高校をめざす。

- 1 生徒が積極的に参加・活動する「わかる授業」を推進し、「スモールステップで学びを支援」し、「確かな学力」を育成する。
- 2 キャリア教育の充実に努めると共に、自立支援コース並びに専門コース等において特色ある教育活動を展開し、主体的に進路実現できる生徒を育成する。
- 3 教育活動全体を通じて、規範意識、人権意識の向上を図るとともに、地域との交流・連携を深め、安全・安心な学校としての信頼感を高めていく。

## 2 中期的目標

- 1 確かな学力の育成と授業改善
  - (1) 生徒の参加・活動量の多い「わかる授業」をめざした授業改善に取り組み、自ら学ぶ生徒を育てる。
    - ア アクティブ・ラーニングを取り入れ、生徒の授業参加と活動量を積極的に増加させ、学びを深める。
    - イ 教員相互の授業見学、他校や中学校の授業見学、授業アンケートを効果的に活用し、授業改善に取り組む。
    - ウ 国際交流事業、英語検定等を活用し、国際理解教育を推進する。
    - エ 「阿武野プロジェクト(あぶプロ)～学力充実プロジェクト委員会」を中心として、組織的な授業改善を行い、生徒の学力の充実に努める。さらに新学習指導要領を見据え、カリキュラムマネジメントに取り組む。
  - ※ 授業アンケートにおける興味関心、知識技能に係る生徒の満足度(平成 30 年度 79%)を上昇させ、2021 年度には 87%以上にする。
  - ※ 平均家庭学習時間を毎年度 10 分増加させる。
  - ※ 外部学力調査の成績上昇者を毎年度 10%向上させる。
  - ※ ICTを活用した授業(平成 30 年度年間 4500 時間)を増加させ、2021 年度も 4000 時間以上を維持する。
  - (2) 学習環境の整備、授業規律の確立を図る。
    - ア 学習環境整備、授業準備、授業規律の指導を徹底し、授業に集中できる環境を整える。
- 2 進路意識の高揚とコース制の充実
  - (1) 進路指導部と学年が協力して、系統的キャリア教育の充実に努め、主体的に進路を選択し実現できる生徒を育てる。
    - ア 総合的な学習の時間(ライフ・プランニング=L P)、L H R(ロングホームルーム)において、系統的・継続的なキャリア教育の充実に努める。
    - ※ 進路決定率(平成 30 年度 93%)を上昇させる。
    - ※ 学校紹介就職内定率は 100%(平成 30 年度 100%)を維持する。
    - ※ 難関中堅私立大学合格者数を増加させ、2021 年度には 30 名以上にする。
  - (2) 「自立支援コース」「スポーツ専門コース」「福祉・保育専門コース」をはじめ、すべての教育課程において、進路実現につながる特色ある教育活動を展開し、望ましい勤労観・職業観、基礎的・汎用的能力を養う。
    - ア コース毎に、生徒の実態や保護者のニーズに応じた教育内容の充実に努め、進路実現に導く。
    - イ コースの特色に応じて多様な教育活動を展開し、地域との交流・連携を深める。
- 3 安全で安心な学校生活の中での規範意識と自尊感情の育成
  - (1) すべての教育活動を通じて安全で安心な学校を作り上げ、規範意識、自尊感情、人権意識の高揚に努める。
    - ア 規範意識の高揚、基本的生活習慣の確立を図るため、登校時の校門指導を強化し、一貫した生徒指導を行う。
    - イ L P、L H Rにおいて、アサーション・トレーニングやメディアリテラシーの取組を含めた人権学習等を計画的に実施し、安全で安心な学校づくり、人権意識の高揚を図る。
    - ウ インクルーシブ教育の理念に基づいた「ともに学び、ともに育つ」教育、並びに地域の学校、諸団体との交流・連携を推進し、社会貢献を体験することで、生徒の規範意識、自尊感情、人権意識を育てる。
    - エ 防災教育、交通安全教育を計画的に継続して行う。
    - ※ 遅刻について、前年度比 5%の減少を図る。
  - (2) 生徒の自主的活動を支援し自尊感情を育成するとともに、自らを律し他人を思いやる心を育てる。その際には、生徒を「褒めて育てる」「スモールステップで育てる」を意識する。
    - ア 学校行事、生徒会活動の活性化を図る。
    - イ 部活動の活性化を図る。
    - ウ 一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援の充実に努める。
    - ※ 部活動加入率(平成 30 年度 51%)を上昇させ、2021 年度には 57%以上にする。
- 4 地域の信頼感を高め、学校教育活動を活性化する学校力の向上
  - (1) 広報活動を推進する体制を強化し、学校教育活動を活性化する。
    - ア 中学校訪問、中高連絡会、学校説明会等を計画的、組織的に実施し、地域の信頼感を高める。
    - イ 学校教育活動全般について、適切な情報発信に努め、保護者、地域との信頼関係を高める。
  - (2) 組織的、継続的に学校力の向上を図る。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [ 令和元年 12 月実施分 ]	学校運営協議会からの意見
<p><b>【確かな学力の育成と授業改善】</b>  《生徒回答項目》(項目/肯定的回答割合/昨年度比、以下同じ)  * 授業への積極参加/73.9%/+0.5 p  * 興味関心をもって学習でき授業に満足している/61.6%/+6.3 p  * 学習内容を理解することができている/67.4%/+6.8 p  * 家庭での予習復習/22.5%/-0.9 p  * 私語が少なくしっかり授業を聞く雰囲気/57.3%/+6.0 p  * 清掃をおこない授業を気持ちよく受けられる環境整備/66.4%/+0.1 p  * 授業開始時に必要なものを準備、課題の提出/78.6%/+0.7 p  《教員回答項目》  * 学習指導や評価についての話し合い/81.6%/+2.5 p  * 教材の精選と工夫/97.3%/+6.6 p  * 参加体験型やグループ学習など学習形態の工夫/86.5%/-1.9 p  * ICTの活用/94.7%/+6.6 p  * 授業規律の確立/54.3%/-2.9 p  《保護者回答項目》  * 子どもは授業が分かりやすいと言っている。/57.4%/-4.2 p  ・学プロを中心に研究授業の実施など学校全体で授業改善に取り組んでいることや、ICTの活用などが、生徒の肯定的回答ポイントを押上げたと思われる。しかしながら、これらの生徒項目の肯定的回答は 6～7 割、また保護者の肯定的回答は 57.4%に留まっており、継続して対策に取り組む必要がある。  ・5 ポイント以上減少した項目はみられなかった。ただし「家庭学習」(22.5%)は依然低い傾向にあり、次年度以降の課題である。</p> <p><b>【進路意識の高揚とコース制の充実】</b>  《生徒回答項目》  * 進路学習の機会がある。/85.7%/-0.6 p</p>	<p><b>【第 1 回 6 月 3 日(月)】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体育大会について、やはり気温が高く、P T Aでも飲料を用意し水分補給の声かけを積極的に行ったが、体調不良を訴えた生徒が見られた。雨の影響による実施時間とプログラムの変更は、結果的に生徒の負担軽減になったので、却ってよかったのではないかと。教育産業の「実力診断テスト」について、生徒がその重要性をあまり認識していないように見受けられ残念だ。学校としての取り組みの中で、生徒が「自分たちがどれくらい出来るか」を自らの誇りとしてきちんと示せるようになるのが理想だと思うので、よろしくお願ひしたい。</li> <li>・授業見学に参加して、私語もほとんどなく、真面目に取り組んでいる生徒の姿を見て安心した。様々な工夫を重ね、子どもたちも興味を持って臨んでいる授業をやっていたお陰と思う。当初は寝ていたり指導されたりしている姿を見かけたものだが、取り組みの効果が表れている。</li> <li>・授業を見て、先生が若く、よい意味で「今風」だと感じた。話し方も親しみやすく、生徒に伝わりそうな雰囲気や印象的だった。授業の最後にアンケートをとり、結果を分かりやすくグラフに集約して説明されていたのも、生徒のことをよく考えていることが伝わってきた。ぴあの授業も、マンツーマンで静かな環境で実施されており、配慮が行き届いていると感じた。</li> <li>・今回始めて授業見学をさせていただいた。「今の授業はこうなっているのか」と見て驚いた。私の子どもに限る話かもしれないが、授業ではプリントをたくさん使用しており、昔と違ってノートをとることが少なくなっている。テストの勉強の仕方、先生がまとめてくれたものを見るだけで、自分でまとめる勉強の仕方が分からなくなっている。プリント等で授業が分かりやすい反面、そこにまかせっきりになっているのではないかと。もちろんそれで出来るお子さんもいるだろうが、気になる点である。</li> <li>・3 回目の授業見学となるが、教室が非常に静かで、落ち着いており驚いた。これまで、「阿武野高校のよさを伝える広報活動に力を入れては」とお話しさせていただ</li> </ul>

## 府立阿武野高等学校

<p>* 地域や外部講師から学ぶ機会／76.0％／+9.5 p</p> <p>* 専門コース授業の満足度（スポーツ）／80.7％／-2.6 p</p> <p>専門コース授業の満足度（福祉保育）／83.2％／-2.0 p</p> <p>《教員回答項目》</p> <p>* 系統的なキャリア教育がなされている。／73.7％／-10.0 p</p> <p>* 進路選択についてのきめ細かな指導／92.1％／+8.4 p</p> <p>* 地域連携の機会／92.1％／+13.5 p</p> <p>《保護者回答項目》</p> <p>* 進路学習について丁寧な指導／72.8％／-4.4 p</p> <p>・生徒が進路学習の機会を与えてもらっているという意識は例年高く横ばいである。保護者もここ数年70％台で推移している。今年度は教員の「きめ細かな進路選択の指導」の項目は8.4ポイント上昇している代わりに、「系統的なキャリア教育」の項目が10.0ポイント減少している。高校3年間を通じたより充実した「系統的なキャリア教育」について考えるきっかけになればよいのではないだろうか。</p> <p>・今年度は「1年生の“すてきな大人インタビュー”での外部講師からの講義、2年生の“あぶねっと”での事前・事後学習の内容の充実、日中交流事業などの取り組みを新たにおこなった。それに伴い教員の意識の向上と共に、生徒の項目も大きく上昇したと思われる。</p> <p>・専門コースの満足度は、ここ数年80％以上と高い水準で推移している。しかしながら、特にスポーツコース受講希望者がここ2年減少傾向にあるため、次年度以降、校内外に魅力を発信する機会を増やしていきたい。</p> <p>【安全で安心な学校生活の中での規範意識と自尊感情の育成】</p> <p>《生徒回答項目》</p> <p>* 学校へ行くのが楽しい。／71.7％／-1.0 p</p> <p>* 保健室や相談室で相談することができる。／67.1％／+4.2 p</p> <p>* 人権の大切さを学ぶ機会／86.6％／+4.0 p</p> <p>* 障がい理解が深まる。／83.7％／+5.8 p</p> <p>* いじめへの対応／69.5％／+1.3 p</p> <p>* 生徒指導への納得／53.3％／-0.8 p</p> <p>* 防災や交通安全指導の機会／78.9％／+5.1 p</p> <p>* 学校行事満足度／74.2％／-1.9 p</p> <p>* 委員会活動やクラス活動に積極的に参加／54.1％／-2.1 p</p> <p>《教員回答項目》</p> <p>* カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導／86.1％／+2.8 p</p> <p>* 教育相談の体制／92.1％／+3.5 p</p> <p>* 人権研修の機会／94.7％／+4.0 p</p> <p>* 人権学習の取り組み／94.7％／+4.0 p</p> <p>* いじめへの対応と体制／97.4％／+4.2 p</p> <p>* 生徒指導体制／86.8％／-1.5 p</p> <p>* 学校行事の工夫・改善／91.9％／+10.5 p</p> <p>* 体育大会や文化祭のルールや役割分担／65.8％／-13.3 p</p> <p>《保護者回答項目》</p> <p>* 子どもは学校に行くのを楽しみにしている。／72.3％／-5.7 p</p> <p>* 子どもは自分のクラスが楽しいと感じている。／69.7％／-9.0 p</p> <p>* 子どものことをよく理解してくれている。／65.3％／-6.4 p</p> <p>* 保護者の相談への対応／77.7％／-3.2 p</p> <p>* 人権を尊重する教育／85.1％／-4.9 p</p> <p>* いじめへの対応／67.3％／-8.3 p</p> <p>* 生徒指導方針に共感／70.6％／-3.0 p</p> <p>* 子どもの文化祭や体育大会でのいきいきとした活動／84.4％／+0.6 p</p> <p>・「障がい理解」の項目は、支援学校との交流行事の拡充などLPやびあの取り組みが結果となってあらわれた。</p> <p>・保護者の項目は全体を通して減少傾向であった。提出率が52.2％(H30 44.2％、H29 40.3％)と過去最高に達したこともあり、保護者が今まで以上に学校教育に関心を持っていると肯定的に捉え、これからも真摯に対応していく必要がある。</p> <p>・生徒の「防災HRや交通安全講習」の項目は、生徒指導部の交通安全テストの取り組みが結果となってあらわれた。</p> <p>・今年度はスクールカウンセラーに加え、新たにスクールソーシャルワーカーを配置したことにより、教育相談体制が強化され、生徒の様々な問題によりきめ細かに対応できるようになった。</p> <p>・生徒の委員会活動やクラス活動への積極的参加は5割程度で横ばいである。今後とも生徒自らが当事者意識を持って、主体的に活動できる環境づくりを進めていきたい。</p> <p>・今年度は体育大会や文化祭で特別活動部を中心に、文化祭での食品販売など新しい取り組みをおこなった。「学校行事の工夫・改善」の項目は前年比10.5ポイント上昇と教員の意識は向上したが、「ルールや役割分担」について課題があったと考えられる。</p> <p>【地域の信頼感を高め、学校教育活動を活性化する学校力の向上】</p> <p>《教員回答項目》</p> <p>* 必要な情報を生徒・保護者・地域へ周知／97.4％／+14.4 p</p> <p>* 経験の少ない教員へのフォロー体制／81.6％／+2.1 p</p> <p>* 教育活動について日常的に話し合っている。／100.0％／+4.8 p</p> <p>* 教員間の相互理解や信頼関係／89.5％／+1.7 p</p> <p>《保護者回答項目》</p> <p>* 学校からの情報提供・意思疎通／76.5％／+2.0 p</p>	<p>いているが、今回もプレゼンテーションを見せていただき、年々内容がよくなっていると感じた。また先生方の説明の様子を見て、先生同士の横のつながりが一枚岩になっていると感じた。そういった先生方のがんばりが少しずつ子どもたちに反映され始めたのではないかと。</p> <p>・テストの点数の上下に一喜一憂したり、テストの点数だけで、力がついているかどうか測ろうとすべきではない。学校の取組みが子どもたちにプラスに働いているかどうかという観点が大切だ。</p> <p>・子どものために先生方が重ねておられる努力は、子どもたちの心に届き、年々よくなって来ている。遅刻数の減少など、大きく改善した数値もある。</p> <p>・授業におけるICT等を利用し生徒の興味関心を呼び起こす取組みは、なかなか成果が数値として表れないものだが、学校の大事な個性としてアピールされるとよいのではないかと。阿武野高校はダンスに見られるように身体による表現力・創造力が素晴らしいので、その特色を大切に、今後も取組みを続けて欲しい。</p> <p>【第2回 10月23日(水)】</p> <p>・(広報誌について) 写真が多く分かりやすい。読もうという気になる。文字が多いとやはり読む気が削がれるものである。写真の表情も非常に良く、読者にとってはこの方がインパクトあってよい。</p> <p>・(新任者の学校紹介プレゼンテーションを聞いて)「びあ」は阿武野高校のいいところだと思うのでしっかり紹介してあげて欲しい。</p> <p>・初期の頃「びあ」が表に出すぎては却ってマイナス面が生じるのではないかと心配したこともあったが、仲間同士支え合ってやっているという現在の様子を聞くともうすぐ大きな特徴であると思う。「びあ」を通じ、生徒たちがお互いへの影響を与えながら共生社会を自然な形で学んでいるということを学校の特徴としてしっかり触れておくと思う。</p> <p>・遅刻が増えているという報告に関連して、違反者に指導するのは当然として、違反していない生徒たちにも、フォーカスを当てる必要があると考える。遅刻をしないことは「出来て当たり前」のことではあるが、社会に出てから遅刻や何かを言い訳にして休むと信頼や職を失うことにも繋がりがかねないので「出来ることが非常に大切」なことでもある。そのことを生徒全体で学ぶ機会があるといい。</p> <p>・生徒がほめて欲しいがっているということに関連して、阿武高祭の表彰式で賞を取った女子生徒の喜びようが印象的だった。一生の思い出になったことだろう。</p> <p>・大学の例で恐縮だが、障害があるために高校で大学進学も就職も無理だと言われた生徒の保護者が、必死に進学出来る大学を探す中で、本学のパンフレットの学生の表情が良いことに目を留め、それがきっかけで入学に至った例がある。その生徒は単位もきちんと取得し、運転免許も取得するなど、無事に学生生活を送っている。このように訴える力のあるパンフレットは必ず誰かが見ている。阿武野高校のパンフレットも生徒・教員ともに写真の表情が良く、ヒットだと思う。</p> <p>・教員間のいじめ事件が報道されているが、今日の授業見学で阿武野高校の元気な先生の様子を見せてもらった。こんな風に先生がしっかりしていて、雰囲気がよく、それが生徒さんにも伝わっていくのだと安心した。</p> <p>・大人が仲良くなかったら学校は良くなる。先生同士、保護者同士、先生と保護者、そこが崩れると難しい。</p> <p>・今のお話にあったように、大人が仲良くする、これに尽きると思う。冒頭で触れたとおり、阿武野の評価が上がっている理由はこういうところにあるのではないかと。阿武野の先生方のほめて育てるやり方で、生徒は安心して学校に来ることが出来る。これからは先生方がますます授業研究を頑張り、先生同士仲良く、保護者も巻き込んでいけば、進学希望者は増えるのではないかと。今後ますます活性化して欲しい。</p> <p>【第3回 1月28日(火)】</p> <p>・「交通安全テスト」の取組みは、頭ごなしに強制するよりもよほど効果的な取組みだ。教育委員会を通じて他校に周知してはどうか。かつて、ある学校が健康診断のために急がせたところ、車にはねられて死亡した自転車通学の生徒がいた。強制することによってそのような結果を招くこともある。その点、「交通安全テスト」の取組みで自ら学ぶというのは非常によい方法だと感じる。</p> <p>・「交通安全テスト」の取組みは非常にいい。中学校でもクラブで自転車を使うので、加害ではないが接触事故や、ながらスマホの問題等があり、テスト形式でやってみるのも面白いと思う。講習なしでパッとテストをやるのもいいし、講習を受けさせてテストさせるのもいい。本校の生徒指導部にも声をかけてみようと思う。</p> <p>・国際交流について、全く興味のない生徒と、とても興味のある生徒で極端に分かれてしまう可能性がある。煽るぐらいがいいのでやる気にさせるコントロールを学校側でして欲しい。</p> <p>・国際交流について。授業以外の行事を実施するのは特に外部講師を迎える場合の調整等、教師サイドの負担が大きく非常に大変だが、やると子どもが得るものは大きい。計画しても反対意見で潰れたりすることもままあるので、皆さん大変な中、今回の実施によく努力されたと思う。今後是非継続して欲しい。</p> <p>・家庭学習について。昨今の状況から家庭学習にアプリの導入は不可避だろうとは思いますが、実際導入するとなると、子どもにどのように触れさせるかが課題。この点、首席は実際自分も毎日やっているとのことだったが、そういう話が生徒の興味につながっていくのだと感じた。先程の「交通安全テスト」でもそうだが、単に口で言うだけではなくて、教員の実践による工夫があって生徒の興味を持てば、生徒の行動につながっていくのだと思う。</p> <p>・保護者アンケートの回収率が上昇したことは、親子のコミュニケーションが以前より進んでいて、意識が高まっていることの現れではないか。他校の状況と比較しても、プラス方向にせよマイナス方向にせよ保護者からの意見を多数受け取る</p>
--	---

府立阿武野高等学校

<p>・「ホームページをより見やすくしたこと」「デジタルサイネージでの生徒への情報提供内容が充実したこと」「今年度は新たに、中学生3年生対象のクラブ体験会を実施したこと」などが、教員の肯定的回答の上昇につながったと考えられる。</p> <p>・「フォロー体制」の項目は5年前と比較すると18.3ポイント上昇している。教員間の相互理解や信頼関係なども高く、初任者向け校内自主研修の「木曜会」はじめ、研究授業や、OJTが効果的に働いている結果と思われる。</p>	<p>ことができるというのはいいことだ。何と言っても保護者の意見は重要だ。</p> <p>・教職員の頑張りはお話の中で十分伝わってきた。また、そのことを生徒たちも徐々に理解している様子がアンケートの結果に現れている。是非家庭の方でも学校の努力を理解して行って欲しい。</p> <p>・学校に来ることで先生方と知り合い、学校の取組みが分かるようになった。学校運営協議会は非常に重要なことだと思う。この中身をもっと多くの方にも知っていただけたらと思う。</p> <p>・クリーンキャンペーンの活動を続けているが、今年も生徒、先生方に多数参加していただいた。逆に地域の方の参加が少なめであったので、もっとたくさんの方に参加していただいて阿武野高校のことを知っていただき、生徒も地域のことを学ぶことが出来る場として欲しい。</p> <p>※満場一致で「令和2年度学校経営計画及び学校評価(案)」が承認された。</p>
---	--

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の育成と授業改善	<p>(1) 生徒の参加・活動量の多い「わかる授業」をめざした授業改善に取り組み、自ら学ぶ生徒を育てる。</p> <p>(2) 学習環境の整備、授業規律の確立を図る。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・アクティブ・ラーニング(AL)、ICTを活用した授業づくりを推進し、生徒の主体的・協働的な授業参加と活動量の増加を図る。</p> <p>・各授業の目標、ポイントを明示するとともに、授業の振り返りを行う。</p> <p>・課題・宿題による家庭学習の習慣づけ、確認を行い、授業進行に活用する。</p> <p>・パフォーマンス課題に基づく評価を推進する。</p> <p>イ・教員相互の授業見学の活性化と共に、授業アンケート結果を活用し、授業改善を図る。</p> <p>ウ・国際交流事業(ケント高との相互交換留学)や英検受検を通じて英語力と国際感覚を養う。</p> <p>エ・あぶプロの活動を継続し、教材開発、研究授業、研究協議、ICT機器活用及びAL推進のための校内研修を実施すると共に、新学習指導要領実施を見据えたカリキュラムマネジメントの設計に取り組む。</p> <p>(2)</p> <p>ア・学習環境整備、授業準備、授業規律について、各学年団での指導を一貫して行う。</p> <p>・保健部を中心に全教職員で校内美化を推進。</p>	<p>(1) アイ</p> <p>・興味関心、知識技能に係る授業アンケート満足度を前年度(79%)より向上させる。</p> <p>・平均家庭学習時間を前年度比10分増加させる。</p> <p>・外部学力調査の成績上昇者を前年度比10%向上させる。</p> <p>・ICTを使用した授業4000時間以上を維持。</p> <p>ウ・国際交流事業の活性化。</p> <p>エ・阿武プロでカリキュラムマネジメント設計を進める。</p> <p>(2)</p> <p>ア・学校教育自己診断(生徒)における「クラス清掃をきちんとする」の肯定的評価を前年度(66%)より向上させる。</p> <p>・同「私語が少なくしっかり授業を聞く」の肯定評価を前年度(51%)より向上させる。</p>	<p>(1) アイウエ</p> <p>・興味関心、知識技能に係る授業アンケート満足度は80%。(○)</p> <p>・平均家庭学習時間は昨年度とほぼ同じ(1年は4分増、2年は4分減、3年は1分増)。(△)</p> <p>・外部学力調査の成績上昇者は2年生が前年度比20%減、1年生が同6%減。(△)</p> <p>・ICTを使用した授業時間は6653時間。(◎)</p> <p>・国際交流事業は例年通り7月にケントレイク・ケントウッド高から生徒4名教員1名を受け入れ、3月に生徒4名教員1名を派遣。今年も派遣希望者が7名と多かった。また、12月には日中交流も実現。より多くの生徒が国際交流に取組んだ。(◎)</p> <p>・阿武プロでは新カリに向けて論議が進み、OECDのキーコンピテンシーと重なる能力を育む方針が確認された。(◎)</p> <p>ICTの活用で授業改善は進んだが、活用を目標とすることなくツールの一つとしてより良い使い方及びALを探求していく必要がある。</p> <p>(2) ア</p> <p>・「クラス清掃をきちんとする」の肯定的評価は66.4%と微増。(○)</p> <p>・「私語が少なくしっかり授業を聞く」の肯定的評価は57%と上昇。(◎)</p> <p>生徒の授業への取組みやクラス清掃への取組みは少しづつ向上している。教員の関わり方がより丁寧になったことでこのような効果が表れたものと捉え、引き続き丁寧な指導を心がける。</p>
	2 進路意識の高揚とコース制の充実	<p>(1) 進路指導部と学年が協力して、系統的キャリア教育の充実を図り、主体的に進路を選択し実現できる生徒を育てる。</p> <p>(2) 各コースをはじめすべての教育課程において、進路実現につながる特色ある教育活動を展開し、望ましい勤労観・職業観、基礎的・汎用的能力を養う。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・3年間で、LP、LHRにおける系統的・継続的なキャリア教育が充実するよう、進路指導部、学年が協力する。</p> <p>・進路指導部・教務部・学年団が協力して、補習・講習を実施し、進路実現に導く。</p> <p>・1年次は自尊感情の育成とともに、LP「素敵な大人インタビュー」等を通して将来の職業生活についての意識を高める。全員の3者面談を実施し、進路決定や職業を意識したコース選択、科目選択を徹底する。</p> <p>・2年次は進路体験学習等のキャリア教育、個人面談により、適切な科目選択、卒業後の進路目標の確定に導く。</p> <p>・3年次は進路別対策講座を実施するとともに、担任・進路によるきめ細かな進路相談を行い、進路希望実現100%をめざす。</p> <p>(2)</p> <p>ア・専門コースや選択科目が生徒の進路に結びつくよう、教育内容の充実を図る。</p> <p>イ・地域諸団体との交流・連携を推進し、進路意識の高揚を図る。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・同「進路や職業について学ぶ機会がある」の肯定的評価を前年度(86%)より向上させる。</p> <p>・2年生の進路目標確定95%以上。</p> <p>・卒業時進路決定率を前年度(93%)より向上させる。</p> <p>・学校紹介就職内定率100%。</p> <p>・難関中堅私立大学合格者数15名以上。</p> <p>(2)</p> <p>ア・同「専門コースの授業に満足」の肯定的評価を前年度(84%)より向上させる。</p> <p>イ・同「地域の方から学ぶ機会がある」の肯定的評価を前年度(67%)より向上させる。</p>

府立阿武野高等学校

<p>3 安全で安心な学校生活の中での規範意識と自尊感情の育成</p>	<p>(1)すべての教育活動を通じて安全で安心な学校を作り上げ、規範意識、自尊感情、人権意識の高揚に努める。</p> <p>(2)生徒の自主的活動を支援し自尊感情を育成すると共に、自らを律し他人を思いやる心を育てる。</p>	<p>(1) ア・全教職員が協力して登校時校門指導を行い、遅刻、頭髪、制服の指導を強化するとともに、挨拶ができる生徒を育てる。 ・生徒一人ひとりが「阿武野高生の代表」という自覚を持ち、責任ある行動、言葉遣いができるよう一貫した生徒指導を行う。 ・カウンセリングマインドを持った生徒指導を推進する。 イ・1年次に地域交流による「障がい理解学習」を行う等、LP、LHRでアサーション・トレーニングやメディアリテラシーの取組を含めた人権学習等を計画的に実施し、安全で安心な学校づくり、人権意識の高揚を図る。 ウ・2年次に社会貢献活動「あぶねっと」を行う等地域交流を推進し、学校教育全般を通じて生徒の規範意識、自尊感情、人権意識を育てる。 エ・防災教育を計画的に行う。 ・自転車運転ルールの順守、マナーの向上について、定期的な注意喚起を行う。</p> <p>(2) ア・学校行事、生徒会活動の活性化を図る。 イ・部活動の活性化を図る。 ウ・各学年、相談室委員会、配慮特別委員会が情報を共有し、SC(スクールカウンセラー)、SSW(スクールソーシャルワーカー)、関係機関との連携を推進して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援体制を維持する。</p>	<p>(1) ア・年間延べ遅刻数 4000 人以下。(H30・3746 人) ・同(教職員)「カウンセリングマインドのある生徒指導の実施」の肯定的評価を前年度(83%)より向上させる。</p> <p>イウ ・同(生徒)「人権の大切さを学ぶ機会がある」の肯定的評価を前年度(82%)より向上させる。 ・同「学校へ行くのが楽しい」の肯定的評価を前年度(73%)より向上させる。</p> <p>エ ・防災教育、交通安全教育の各学期実施。 ・カップ所有率 100%。</p> <p>(2) ア・同「学校行事満足度」の肯定的評価を前年度(76%)より向上させる。 イ・部活動加入率 51%→53%。 ・生徒会や部活動による地域交流 20 回以上。 ウ・「個別の教育支援計画」の作成と適切な支援。</p>	<p>(1)ア イ ウ エ ・年間延べ遅刻数は 3762 人。昨年度より微増も目標は達成。(○) ・「カウンセリングマインドのある生徒指導の実施」の肯定的評価は 86%と増加。(○) ・「人権の大切さを学ぶ機会がある」の肯定的評価は 87%と増加。(○) ・「学校へ行くのが楽しい」の肯定的評価は 72%と微減。(△) ・今年度避難訓練は雨天中止で机上訓練とし、3 学期には防災 HR を実施。(○)交通安全教育は随時実施。また今年度は生徒指導部より交通安全テストを実施し、全員が合格。(◎) ・カップ所有率は 100%。(○)</p> <p>(2)ア イ ウ ・「学校行事満足度」の肯定的評価は 74%と微減。これは体育大会が雨天の影響で一部中止となったことが影響。(△) ・部活動加入率は 50%と微減。(△) ・生徒会や部活動による地域交流は、富田フェスティバル・中阿武野夏祭り・同文化祭・ふれあい冬まつりなどに参加。昨年度よりは多い 18 回の交流を実施。(△) ・支援計画は計 4 名作成し適切に支援できた。(○) 多くの項目で○評価出来るが、部活動加入率の上昇は大きな課題である。</p>
<p>4 地域の信頼感を高め、活性化させる学校力の向上</p>	<p>(1)広報活動を推進する体制を強化し、学校教育活動を活性化させる。</p> <p>(2)組織的、継続的に学校力の向上を図る。</p>	<p>(1) ア・中学校訪問、中高連絡会、学校説明会等を計画的、組織的に実施する。 イ・学校紹介スライド、3 年間の学び・みえるプラン、広報誌(ABULIFE)を作成すると共に、校内のデジタルサイネージを推進し、教育活動の効果的な情報発信に努める。 ・文書、保護者メール、HP(ホームページ)等を使って保護者との連絡をより密接に行い、学校との信頼関係を向上させる。</p> <p>(2) ・日常的な OJT の推進に努め、経験年数の少ない教職員の育成体制の充実を図る。 ・府教育センター等の研修を活用し、伝達研修の充実を図る。 ・地域の府立学校とも連携し、多様な課題に対応するための職員研修を計画的に実施する。 ・OJT の充実や ICT の導入によって業務の効率化を進め、ストレスチェック制度の有効活用も行き、教職員の負担感軽減を図る。</p>	<p>(1) ア・学校説明会等の計画的、組織的实施 6 回以上。 イ・HP をより見やすく改善する。 ・同(保護者)「教育情報提供満足度」の肯定的評価を前年度(73%)より向上させる。</p> <p>(2) ・伝達研修を含む職員研修の実施 12 回以上。 ・同(教職員)「経験の少ない教職員をフォローする体制」の肯定的評価を前年度(80%)より向上させる。</p>	<p>(1)ア イ ・学校説明会は予定通り 6 回開催し、他に中学校訪問 72 回、管理職による学校訪問 8 回、自立支援コース説明会 2 回。特に今年度は夏にクラブ体験会を新規で開催。各学校説明会や進学フェアでの来校者数は今年の倍。(◎) ・HP は改定済。(○) ・「教育情報提供満足度」の肯定的評価は 74%と微増。(○)</p> <p>(2) ・伝達研修を含む職員研修は 19 回実施。(◎) ・「経験の少ない教職員をフォローする体制」の肯定的評価は 82%と微増。(○) 在籍生徒保護者への情報提供は進んだので、今後は中学生の生徒保護者に訴える効果的な情報提供を更に進めていきたい。</p>